

記載例

平成 ● 年 ● 月 ● 日

事件番号 平成 ● 年 (家イ) 第 ●●●●● 号

事件名 遺産分割申立事件

申立人 乙 川 春 子

相手方 甲 野 花 子 外●名

申立人 乙 川 春 子 ㊞

資料説明書

通し番号	資料のタイトル	資料の内容	備考
甲1	●●銀行●●支店の通帳コピー	被相続人の遺産である預金の残高	遺産目録番号 1
甲2	残高証明書 (●●銀行●●支店)	被相続人の遺産である預金の残高	遺産目録番号 2, 3
甲3	●●証券の残高証明書	被相続人の遺産である株式	遺産目録番号 4
甲4	●●銀行●●支店のMRF証書コピー	被相続人の遺産である投資信託	遺産目録番号 5~8
甲5	不動産査定書	被相続人の遺産である不動産の評価	遺産目録番号 【土地】 1 【建物】 1
甲6	相続分譲渡証書 (丙野次郎分)	●●に相続分譲渡がされたこと	
甲7	相続放棄受理証明書 (丁野三郎分)	相続放棄をしたこと	
甲8	遺産分割協議書コピー	未分割遺産の範囲を示す	
甲9	遺言書コピー	未分割遺産の範囲を示す	

- 資料説明書は、裁判所及び他の当事者が、あなたが提出した資料を見ただけではわかりにくいことがあるため、資料の内容等を説明するためのものです。別添の書式を利用して作成してください。なお、同書式を利用しない場合には、A4判の用紙を用いて作成してください（左側をとじしろとして、3.5cm程度空けてください。）。提出する資料と同じように、資料説明書も裁判所用、他の当事者の人数分の通数を作成し、あなた用の控えも作成してください（1部を手書きで作成し、必要通数分をコピーで作成することで構いません。）。
- 通し番号欄は、甲1号証の場合は「甲1」とし、甲2、甲3と続けて記載してください。申立人が複数の場合には、「甲イ1」、「甲ロ1」などと記載して頂きますが、具体的には裁判所が指示します。
- 資料のタイトル欄には、資料に表示されているタイトル名（例：残高証明書）を記載します。タイトル名が表示されていない場合には、資料の内容に相応するタイトル名（例：被相続人の手帳）を記載します。
- 資料の内容欄には、上記の記載例を参考にして、資料の内容を簡潔に記載してください。